植木センターだより

令 和 5 年　第 1 号（ Vol.148 ）

花の拡大　　フジモドキ

フジモドキは、ジンチョウゲ科の落葉低木で、中国、韓国、台湾などに分布しています。花弁のような萼片が淡紫色で美しく咲き誇り、観賞用として庭に植栽されます。薬用としても用いられますが強い毒性があります。植木センターでは西側の外周に植栽されており、４月ごろに咲きます。

目　次

県内市場動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
花ごよみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
緑化木の主要害虫 №３３　（クスサン）・・・・・・・・・・・６

ー　県内市場動向　ー

愛知県植木センターでは、最新の植木市場の情報及び技術情報を収集し、緑化木生産者を支援しています。

当センターでは、昭和61年から県内３植木市場（井堀・矢合・福地）において 主に地元から出荷される緑化木を中心に21品目（一般植木、株・玉物、生垣用樹）の取引量を春期（2～4月）と秋期（10月～11月）に調査しています。また、平成20年からは近年市場でよく見られる10品目を追加して調査しています。

ここでは、令和４年春期・秋期の取引量の概要を紹介します。

Ⅰ 春期

１ 全体取引量（追加樹種を含まず）〔図－１〕

今期の全体取引量は、前年同期(約11.5万本)とほぼ同量の約11.5万本弱で、前年同期比は約99％となりました。全体取引量は平成22年以降減少傾向が続き、平成28・29年にはわずかな増加に転じたものの、再び減少傾向となり、今期もやや減少しました。

２ 用途別の取引動向　〔図－２、３〕

一般植木の取引量は約2.7万本で、前年同期(約3.4万本)より約0.7万本減少しました。自然形ではカエデ類が多く、続いてツバキ、キンモクセイ、ヒバ類で昨年からやや減少しました。仕立物ではイヌマキ、クロマツ、イヌツゲが増加しましたが、キャラボク、ウバメガシは低調のままで全体では若干回復しました。

株・玉物の取引量は約6.5万本で、前年同期(約5.5万本) より約1.0万本増加し、下げ止まりの状況かと思われます。主要樹種であるサツキ、ツツジ類、イヌツゲで大半を占めますが、いずれも増加しました。生垣用樹は約2.3万本で、前年同期(約2.6万本)より約0.3万本減少しました。取引量の多い品目は、サザンカとイヌマキで、両種で生垣用樹の約87％を占め、今期はイヌマキとマサキが減少し、全体量を押し下げました。

３ 調査追加樹種（10品目）を含む取引量上位の動き〔表－１〕

平成20年から、調査対象として追加した樹種も含めた取引量の上位10品目では、従来からサツキとツツジ類が上位を占めてします。今期は、オタフクナンテン、ドウダンツツジ、イヌツゲが増加して順位を上げ、一方シマトネリコとカエデ類はやや減少し、順位を下げました。

図－１　春期取引量の推移（２１品目）

表－１　春期取引量上位10品目（追加樹種含む）の動き

順位	令和２年 品名	区分	前期比	令和３年 品名	区分	前期比	令和４年 品名	区分	前期比
1	ｻﾂｷ	株	↘	ｻﾂｷ	株	・・・	ｻﾂｷ	株	・・・
2	ｻｻﾞﾝｶ	生	↑	ﾂﾂｼﾞ類	株	↑	ﾂﾂｼﾞ類	株	↗
3	ｼﾏﾄﾈﾘｺ	―	↗	ｼﾏﾄﾈﾘｺ	―	・・・	ｵﾀﾌｸﾅﾝﾃﾝ	株	↗
4	ｵﾀﾌｸﾅﾝﾃﾝ	株	↘	ｵﾀﾌｸﾅﾝﾃﾝ	株	・・・	ｻｻﾞﾝｶ	生	・・・
5	ｲﾇﾂｹﾞ	株	・・・	ｻｻﾞﾝｶ	生	↓	ｼﾏﾄﾈﾘｺ	―	・・・
6	ｶｴﾃﾞ類	―	・・・	ｶｴﾃﾞ類	―	・・・	ﾄﾞｳﾀﾞﾝﾂﾂｼﾞ	株	↗
7	ﾄﾞｳﾀﾞﾝﾂﾂｼﾞ	株	・・・	ﾄﾞｳﾀﾞﾝﾂﾂｼﾞ	株	・・・	ｲﾇﾂｹﾞ	株	↗
8	ﾂﾂｼﾞ類	株	↘	ｲﾇﾂｹﾞ	株	↘	ｶｴﾃﾞ類	―	・・・
9	ﾊﾅﾐｽﾞｷ	―	・・・	ﾊﾅﾐｽﾞｷ	―	・・・	ﾂﾊﾞｷ	―	・・・
10	ｲﾇﾏｷ	生	↘	ｲﾇﾏｷ	生	・・・	ﾔﾏﾎﾞｳｼ	―	・・・

・前期比単位 ・・・：±20％未満 ↗　：＋20％以上40％未満 ↘　：－20％以上40％未満
↑　：＋40％以上　↓　：－40％以上　―：データなし

・区分　―：一般植木　株：株・玉物　生：生垣用樹

図－２　春期取引量の区分別構成比（％）

図－３　春期取引量（追加樹種含む）の区分別構成比（％）

Ⅱ 秋期

１ 全体取引量（追加樹種を含まず）〔図－４〕

今期の全体取引量は約5.8万本で、前年同期（約5.8万本）と同程度となりました。

平成10年以降減少傾向が継続しており、減少傾向は緩やかになったものの、今期の取引量は平成10年に比べると13%まで減少しました。

２ 用途別の取引動向　〔図－５、６〕

一般植木（自然形・仕立物）の取引量は約1.5万本で、前年同期（約1.5万本）とほぼ同量でした。自然形では、カエデ類、ツバキが好調で、カシ類、ヒバ類は若干減少しました。仕立物では、イヌツゲ、イヌマキが増加したものの、大型の仕立物の取引数量は低調のままです。

株・玉物の取引量は約2.8万本で、前年同期（約3.0万本）より約0.1万本減少しました。イヌツゲが増加に転じたものの、株・玉物の大半を占めるサツキとツツジ類がともに減少しました。

生垣用樹の取引量は約1.5万本で、前年同期（約1.3万本）より約0.2万本増加しました。生垣の主要樹種であるサザンカとイヌマキは若干増加する兆しが見えています。

３ 調査追加樹種（10品目）を含む取引量上位の動き〔表－２〕

追加樹種を含めた取引量の上位10品目では、サツキ、オタフクナンテン、サザンカが依然として上位を占めており、ツツジ類、キンモクセイが続いています。近年、取引量が多かったオタフクナンテン、シマトネリコが減少傾向にあり、それに代わる突出した樹種が少なく、全体に樹種が平均化（多様化）している傾向が見られます。

図－４　秋期取引量の推移（２１品目）

表－２　秋期取引量上位10品目（追加樹種含む）の動き

順位	令和2年			令和3年			令和4年		
	品名	区分	前期比	品名	区分	前期比	品名	区分	前期比
1	オタフクナンテン	株	・・・	オタフクナンテン	株	↓	サツキ	株	・・・
2	サツキ	株	・・・	サツキ	株	↘	オタフクナンテン	株	↘
3	シマトネリコ	―	・・・	ツツジ類	株	↑	サザンカ	生	・・・
4	サザンカ	生	↘	シマトネリコ	―	↘	ツツジ類	株	・・・
5	イヌツゲ	株	↘	サザンカ	生	・・・	キンモクセイ	―	・・・
6	ソヨゴ	―	↑	ドウダンツツジ	株	↑	イヌツゲ	株	↑
7	キンモクセイ	―	・・・	キンモクセイ	―	・・・	カエデ類	―	・・・
8	カエデ類	―	・・・	ヤマボウシ	―	・・・	シマトネリコ	―	↓
9	ツツジ類	株	↗	カエデ類	―	・・・	ドウダンツツジ	株	↓
10	ドウダンツツジ	株	↓	ソヨゴ	―	↓	イヌマキ	生	・・・

前期比　・・・：±20%未満　↗：＋20%以上40%未満　↘：－20%以上40%未満
↑：＋40%以上　↓：－40%以上　―：データなし
区分　―：一般植木　株：株・玉物　生：生垣用樹

図－5　秋期取引量の区分別構成比　（%）

図－6　秋期取引量（追加樹種含む）の区分別構成比　（%）

井堀市場
（稲沢市）

矢合市場
（稲沢市）

福地市場
（西尾市）

花 ご よ み

植木センターに植栽されている樹種で調査しています

1 オウバイ

2 アセビ（クリスマス・チア）

3 ユキヤナギ（フジノピンキー）

4 ニワザクラ

5 ジューンベリー

6 フイリオオベニウツギ

7 カルミア

8 ヤマボウシ(ホンコンエンシス)

9 ヒペリカム(ヒドコート)

10 ヒメシャラ

11 ムクゲ（鳥取花笠）

12 サザンカ（紅サザンカ）

緑化木の主要害虫　No.33

クスサン

チョウ目（鱗翅目）ヤママユガ科

若齢幼虫（体長6～10㎜）　H23.4.28 サワグルミ

若齢幼虫（体長11㎜）　H23.5.2 サワグルミ

若齢幼虫（体長8～14㎜）　H23.5.6 サワグルミ

中齢幼虫（体長25㎜）　H23.5.13 サワグルミ

スカシダワラとよばれる繭
H22.6.11 クリ

老齢幼虫（体長55㎜）H23.5.26 サワグルミ

１．発生樹種

クリ、コナラ、クヌギ、サワグルミ、サクラ、ウメ、カツラ

２．害虫の特徴（発生時期、形態等）

年1回の発生で、樹上で越冬した卵が４月頃孵化し、下旬には若齢幼虫の群生が見られるようになる。

若齢時、全体黒色で黒い短毛が疎生する虫体は、成長とともに大きく変化する。白い長毛が生え、黒い胴体には大きな白斑が現れて、次第に体全体が淡緑黄色になり、背面は白くなる。また、全体が白色の長毛に覆われるようになる。

同じ卵塊から孵化したと思われる幼虫でも、若齢時から体長にはばらつきが見られる。

老齢になると100㎜を超える幼虫もみられ、６月中旬頃から繭をつくり、蛹になる。

３．被害の特徴

若齢時は群生して葉を食害するが、群れは比較的少数で食害量も多くはないが、成長とともに分散して食害量も増大する。しばしばクリやクヌギに多発して葉をほとんど食い尽くし丸坊主にすることもある。

４．対策

越冬卵は見つけ次第除去するとともに、若齢幼虫が群生している枝を切除するのが有効であるが、多発、分散した場合は、薬剤散布による防除が必要となる。

令和5年3月　Vol.148　　編集：(公財)愛知県林業振興基金植木センター管理事務所
〒492－8405　稲沢市堀之内町花ノ木129
発行：**愛知県植木センター**　TEL 0587－36－1148　FAX 0587-36-4666